

# 令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 まこと

- 法人本部
- 特別養護老人ホーム しあわせの家
- 地域密着型特別養護老人ホーム しあわせの家寒川
- ショートステイ しあわせの家
- ショートステイ しあわせの家寒川
- デイサービスセンター しあわせの家
- 居宅介護支援事業所 しあわせの家

# 社会福祉法人まこと 法人本部

## 令和4年度 事業報告書

### 1. 令和4年度の重点取組評価

#### (1) 安定した経営の維持

非常に厳しい1年となりました。新型コロナウイルス感染症による利用控え並びにクラスター発生等によるデイサービスの休止及びショートステイの受入中止等が発生したことが一番の要因であると分析しています。そのような状況下ではありましたが、職員の努力・協力体制により適切に対応することができたことで顧客の理解は得られていると評価しています。詳細については各事業所の事業報告書をご参照下さい。

無駄の排除について引き続き法人の共通認識として取り組みましたが、紙の使用枚数の削減、エレベーターの職員利用削減等に取り組み、印刷機の使用枚数については、経費削減ができていると評価しています。尚、燃料費の高騰や数えきれない品目の値上がりなど、一過性ではない物価高は、コスト増を価格に転嫁できない高齢者福祉施設にとっては、多大な影響を及ぼしていますので、様々な支援制度をもれなく活用することに取り組んでいるところです。

今後も安定した経営の維持に向けて、継続した無駄の排除に取り組む必要があると考えています。

#### (2) 現リーダーの成長及び次世代人材育成の推進

昨年度に続きコロナ禍で一部の研修を中止としたことなど、十分な取り組みが出来たとは言えないと評価しています。来年度は、外部研修への派遣等を含めより計画的に取り組むたいと考えています。

#### (3) 人材確保

人材確保のための施策としては派遣会社の活用、ハローワークでのミニ面接会の開催、高校卒業予定者面接会への参加、シルバー人材の活用を行いました。

令和4年度においては、18名(内豊岡事業場14名、寒川事業場4名)の直接雇用(介護(特定)技能実習生6名を含む)を開始、また、派遣業者より5名を受け入れました。

介護業界における人材不足は深刻な状況ですので、今後も介護サービスを安定的に提供できるような人材確保に向けて労働者からも選ばれる法人になれるよう努力することが必要であると考えます。

#### (4) 顧客意識(接遇)の向上

顧客意識の向上に向けた法人の方針を各事業所において職員に周知してきました。顧客満足度調査の結果では高い評価をいただくことができていますので顧客意識が高まってきていると評価します。選ばれる事業所になるためには、高齢者の尊厳を守ることを念頭に顧客意識を向上させることが必要不可欠であると考えていますので、今後も採用時研修、研修会を通じて、継続的に取り組むたいと考えています。

## (5) 労働環境の整備

ノーリフトケアの導入による労働環境改善・職員の負担軽減においては、愛媛県のノーリフティングケア普及啓発事業に豊岡の特養施設が選定され、研修を開始したこともあり少しずつではありますが、ケア改善に向けて取り組んでいると評価しています。今後は豊岡特養で実践した内容を他の事業所にも波及させ全ての事業所での実践に向けて扇動したいと考えています。

## (6) 新規事業開設に向けての調整と推進

行政との調整において令和 6 年度の開設に向けて準備することとなっていますが、令和 4 年度では具体的な推進はありませんでした。令和 5 年度は具体的な準備に取り組むことになると考えています。

## 2. 実施事業評価

各事業所の事業報告書参照

## 3. 職員配置結果評価

事業計画の通り配置することができました。

## 4. 年間行事・各種会議結果評価

8月の花火大会(夕涼み会)・12月の餅つき大会はコロナ感染拡大防止のため中止しました。その他は概ね計画の通りに実施することができました。

## 5. その他、運営結果報告

- 4月 \*入職式(技能実習生3名)を開催しました。
- 5月 \*理事会を開催しました。  
\*物故者供養祭を開催しました。
- 6月 \*評議員会を開催しました。  
\*愛媛県よりコロナ感染の派遣要請のあった新居浜市のグループホームへ職員(2名)を派遣しました。
- 9月 \*入職式(特定技能実習生3名)を開催しました。
- 10月 \*永年勤続表彰式を開催しました。
- 11月 \*評議員会に議案提出して承認された定款の変更が四国中央市に認可されました。  
\*独立行政法人福祉医療機構からの借入について最終返済を終了しました。
- 12月 \*評議員選任・解任委員会が開催され、新評議員(2名)が選任されました。
- 3月 \*理事会を開催しました。  
\*社会福祉法人まことの組織再編について検討を重ね、令和5年度の組織体制を確立し異動内示しました。

# 特別養護老人ホーム しあわせの家

## 令和4年度事業報告書

### 1. 令和4年度の重点取組評価

#### (1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上

豊岡事業場の年間目標は「接遇マナーを向上させよう」として各事業所単位で取り組むと同時に、法人全体でも接遇向上に取り組んでいます。少しずつ効果も表れてきています。

#### (2) 人材育成の推進

新型コロナウイルスの蔓延、施設内クラスターなどにより、施設内研修の一部を文書開催で行いました。施設外で行われた研修についてはオンライン（ZOOM等）により受講し知識や技術の習得に努めることができました。

#### (3) 労働環境の整備

本年も職場環境改善アンケートを従業員全員に行い改善点の優先順位の高いものから改善し、より働きやすい環境づくりに努めています。

ノーリフトケアの取り組みに関しては、愛媛県のノーリフティングケア普及啓発事業に応募し当施設が選ばれたことにより、今年度内にて愛媛県指導のもと取り組んでいく事となり現在までに施設にて個別研修を1度行いました。新型コロナウイルスの影響で予定通りには進みませんでした。今後も愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業に参加し継続的に取り組んでいきます。

#### (4) 安定した運営

令和4年6月1日より管理栄養士を2名体制とする事により、栄養マネジメント強化加算の算定を開始するとともに、安定した収入を得ることが出来る体制をとる事ができましたが、令和4年度中に4度の新型コロナ感染症クラスターが発生した事により、稼働率が安定しませんでした。

### 2. 目標稼働率評価

#### ① 96%

$(100\text{床} \times 365\text{日} - \text{入院日数} \cdot \text{外泊日数} \cdot \text{退所} \Rightarrow \text{入所間の空床日数}) \div (100 \times 365)$

#### ② 年間入院日数1,000日以内

上記目標を掲げていましたが、実績は以下の通りです。

#### ① 93.1%

#### ② 1,717日

目標の値には至っていません。令和3年度に比べても1.3%の稼働率減になりました。要因としては新型コロナウイルスによるクラスターが7月から2月にかけて4回起こった事により、令和3年度は退所から入所までに要した平均日数が12日に対し令和4年度では17.8日と1人に対して5日以上多くかかってしまった。また利用者の重度化により体調不良を起こす方が多く、入院者が令和3年度に比べ62日多かったことが挙げられます。

### 3. 施設行事実施結果評価

\*新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、外部との接触が3密となる行事については自粛しました。館内のみで行う行事については、周囲の感染状況や行政の指示に従い規模を縮小して行いました。

### 4. 職員配置結果評価

\*年度末での職員の配置状況は以下の通りになります。介護職の配置が事業計画より約4.6名不足し並びに看護職も0.5名不足となりましたが、それ以外は計画通りに配置することができました。

	計画	年度末現在
施設長	1名	1名
介護長	1名	1名
介護職員	46名	41.4名
看護職員	7名	6.5名
生活相談員	2名	2名
介護支援専門員	1名	1名
機能訓練指導員	1名	1名
管理栄養士	1名	2名

令和4年度の入退職状況は、新規雇用者12名（介護職員（常勤8名・非常勤1名）看護職員（常勤1名・非常勤1名）管理栄養士（常勤1名））退職者8名（介護職（常勤2名・非常勤3名）看護師（非常勤3名））でした。

※令和5年度より介護長は副施設長へ職制が変更となります。また職員配置については運営規定と同様に一部職種を○名以上と表記することとしています。

### 5. 各種委員会・職員会議結果評価

\*概ね事業計画の通り開催する事ができました。

### 6. 各種研修会結果評価

\*新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、外部講師を招いての研修は中止しました。又、一部研修内容を文書開催とする等、予定変更して対応することとし、開催が義務付けられている必須研修については実施することができました。

### 7. その他、運営結果評価

- 4月 \*入職式開催（技能実習生）  
\*令和4年度事業計画説明会開催（理事長出席）
- 5月 \*消防訓練（夜間想定）実施
- 6月 \*栄養部門創設（組織再編）  
\*上半期顧客満足度調査実施  
\*新型コロナウイルスワクチン接種（4回目）実施
- 7月 \*栄養マネジメント強化加算 算定開始  
\*新型コロナウイルスワクチン接種（4回目）実施  
\*被服（ユニホーム）支給（2年毎）  
\*三島南中学校から職場体験を受け入れ

- \*新型コロナウイルスによる施設内クラスター（7/24～8/9）
- 9月
  - \*敬老会（規模を縮小して開催）
  - \*入職式開催（特定技能実習生）
  - \*花火観覧（規模を縮小して開催）
  - \*高齢者表彰式開催
- 10月
  - \*介護職員等ベースアップ等支援加算 算定開始
  - \*職員満足度調査実施
  - \*職場環境改善アンケート実施
  - \*ストレスチェック実施
  - \*寝具交換実施
  - \*インフルエンザ予防接種実施（10月、12月）
- 11月
  - \*消防訓練（昼間想定）実施
  - \*新型コロナウイルスによる施設内クラスター（11/7～11/29）
- 12月
  - \*下半期顧客満足度調査実施
- 1月
  - \*人事考課実施
  - \*新型コロナウイルスによる施設内クラスター（1/5～1/30）
- 2月
  - \*県指導監査
  - \*令和5年度事業計画（案）策定
  - \*新型コロナウイルスによる施設内クラスター（2/11～2/24）

# 地域密着型特別養護老人ホーム しあわせの家寒川

## 令和4年度 事業報告書

### 1. 令和4年度の重点取組評価

#### (1) 組織体制の確立とガバナンスの強化

組織体制の確立に必要な不可欠であるビジョン（理念・方針）の浸透については様々な場面での啓発活動を継続することで徐々に理解が深まっていると分析していますが、これについては永続的に取り組んでいかなければならないテーマであると考えています。また、ガバナンス（統治）の強化については、役職者の自覚とスタッフの理解によって事業所内の指揮命令系統に沿った行動ができるようになってきていますので、これにより風通しの良い組織体制へと繋がっていると分析しています。今後の課題としては、リーダーシップを発揮すべき役職者のより一層の成長であると考えます。

#### (2) 災害対応力の向上

令和3年度の介護報酬改定によって義務つけられた災害対応力の向上ですが、BCP計画の策定や各種訓練については概ね実施することができました。また、感染症対応としてコロナウイルス感染症の療養支援を経験したことで、具体的なシミュレーションに基づいて対応することもできました。こうしたことから、有事に備えた対応力は高まってきていると分析しますが、現状で十分であるとは言えません。BCP計画ではまだ具体性に欠ける部分があることやコロナ禍においての地域との協働による災害訓練の実施は不十分であることから、更なる対応力の向上に取り組む必要があると考えます。

#### (3) サービスの質の向上（顧客ニーズを踏まえた個別対応力の向上）

ご利用者ひとり一人の個別性を尊重した支援を実践できるように施設内研修会において様々な知識習得に取り組んできましたが、スタッフ全体のスキルアップは一朝一夕に成しうるものではありませんので今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。尚、ノーリフトケアの導入に関しては本体施設が推進事業所に選考されたことを受けて、本体施設の取り組みプロセスを参考にして今後の導入に向けて準備していききたいと考えています。

### 2. 目標稼働率評価

95%

$(29 \text{床} \times 365 \text{日} - \text{入院日数} \cdot \text{外泊日数} \cdot \text{退所} \Rightarrow \text{入所間の空床日数}) \div (29 \times 365)$

上記目標を掲げていましたが、令和4年度の実績は以下の通りです。

※詳細は添付資料参照

95.2%

目標を達成することができましたが、令和3年度より約2%の稼働率減となりました。年間入院日数が前年度比177日増となったことが要因となります。尚、退居者9名発生に対して新規入居に要した日数は108日（一人12日平均）でした。新規入居においては、各関係機関との調整等に時間を要することから2週間以内で可能な限り速やかに対応することとしていますが、概ね対応ができています。重度化が進む中で入院者数が増加傾向にありますので、健康管理に留意して入院者の発生を防ぐことに努めるとともに早期対応によって入院期間の短縮に繋げていきたいと考えています。

### 3. 施設行事実施結果評価

\* 計画していた施設行事については、コロナウイルス感染状況から中止した行事がありました。また、ユニット単位で企画して実施する行事については概ね実施することができました。ただし、施設外部との交流といった企画については今年度も実施を控えることとなりました。コロナウイルス感染症の状況を鑑みながらご利用者の豊かな生活に繋がるような行事を企画して実践していきたいと考えています。

### 4. 職員配置結果評価

\* 年度末での職員配置状況は以下の通りです。看護職員の配置が事業計画に 1 名不足している状態となりましたが、それ以外は計画通りに配置ができました。

	計画（常勤換算）	年度末現在
施設長	1名	1名
統括主任	1名	1名
介護職員	23名	23名（育児休業中2名）
看護職員	4名	3名
生活相談員	2名（兼務1）	2名（兼務1）
介護支援専門員	2名（兼務1）	2名（兼務1）
機能訓練指導員	1名（兼務1）	1名（兼務1）
管理栄養士	1名	1名
医師	非常勤2名	非常勤2名
事務職員	1名	1名

令和4年度の入退職状況は、新規雇用者4名（介護職員1・看護職員1・介護支援専門員1・管理栄養士1）・退職者3名（介護職員1・介護支援専門員2）・本体施設異動（看護職員1）でした。

※令和5年度より統括主任は統括長へ職制が変更となっています。また、職員配置については、運営規程と同様に一部職種を〇名以上と表記することとしています。

### 5. 各種委員会・職員会議結果評価

\* 事業計画の通り実施できました。サービス等の質の向上に繋がる委員会活動も実践できました。

### 6. 各種研修会結果評価

\* 一部研修内容を予定変更して対応することがありましたが、義務付けられている必須研修の開催を含めて施設内研修については計画通りに実施することができました。しかし、外部研修への参加はコロナ渦の中で控えていましたので十分ではありませんでした。総合的には職員のスキルアップに繋がる効果的な研修を実施することができたと評価します。



## 7. その他、運営結果報告

年間通して、適宜コロナウイルス対策に関する施策を実施

- 4月
  - \* 令和4年度事業計画説明会開催（理事長出席）
  - \* 第1回運営推進会議開催
  - \* 断続的宿日直勤務（職員による宿直対応）開始
- 5月
  - \* 人材育成研修（リーダー対象）実施
  - \* 消防訓練（夜間想定）実施
- 6月
  - \* 上半期顧客満足度調査実施
  - \* 感染症発生時の対応訓練実施（外部講師による研修）
  - \* 施設長面談（全職員対象）実施
  - \* 第2回運営推進会議開催
- 7月
  - \* コロナウイルスワクチン接種（4回目）実施
- 8月
  - \* 異動希望調査実施
  - \* 第3回運営推進会議開催（書面開催）
- 9月
  - \* 敬老会（高齢者表彰）開催
  - \* 停電試験実施
- 10月
  - \* 介護報酬改定（令和4年10月ベースアップ等支援加算）算定開始
  - \* 寝具交換実施
  - \* 職員満足度調査実施
  - \* ストレスチェック実施
  - \* 職場環境改善アンケート実施
  - \* 第4回運営推進会議開催
- 11月
  - \* インフルエンザ予防接種実施（11月～12月）
  - \* 消防訓練（避難・通報）実施
  - \* コロナウイルス施設内療養支援1名発生（11月19日～29日）
- 12月
  - \* コロナウイルス施設内療養支援2名発生（12月25日～1月3日）
  - \* コロナウイルスワクチン接種（5回目）実施
  - \* 下半期顧客満足度調査実施
  - \* 第5回運営推進会議開催
- 1月
  - \* 人事考課実施
  - \* 感染症発生時の対応訓練2回目実施（BCP訓練兼ねる）
- 2月
  - \* 第6回運営推進会議開催
  - \* 県指導監査
  - \* 少年の日記念授業（三島東中学校）参加
  - \* 令和5年度事業計画（案）策定
- 3月
  - \* 特になし

# ショートステイ しあわせの家

## 令和4年度事業報告書

※「ショートステイしあわせの家」は、特別養護老人ホームしあわせの家の併設事業となる為、重複する部分については特別養護老人ホームしあわせの家の報告書をご参照お願い致します。

### 1. 令和4年度の重点取組評価

- (1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上
- (2) 人材育成の推進
- (3) 労働環境の整備

上記(1)～(3)については、特別養護老人ホームしあわせの家事業報告書参照

### (4) 安定した運営

新型コロナウイルス感染状況に応じた対応で担当者会議に参加し、各事業所の担当ケアマネージャーと情報共有を行う事ができました。

特別養護老人ホームしあわせの家でクラスターが発生した際は、館内の感染状況に応じた受け入れ態勢を取り利用者の受け入れを行いました。

利用者増に向けて毎週月曜日に四国中央市内の全居宅介護支援事業所に空床情報（長期利用も含む）を送りショートステイの空床を少しでも稼働できるように努めました。

### 2. 目標稼働率評価

計画 全ての空床を含めた実総数に対して 95%

上記目標に対して、実績は以下の通りとなりました。

73.9%

目標達成に至っていません。空床数（入院者数及び退所から入所までにかかる日数）が令和3年度と比べると455床増加し、利用者数が357名減少したことにより7.5%の稼働率減となりました。要因としては、新型コロナウイルスが全国的に流行したことで利用控えが見られたことや、併設施設である特別養護老人ホームで7月から2月にかけて新型コロナウイルスによるクラスターが4回起こった事により、利用受け入れの制限を行った結果、利用減に繋がりました。また特養入所者の入院や、退所に伴っての空床が多かった事も稼働率低下に繋がった原因だと考えます。

### 3. 施設行事結果評価

### 4. 職員配置結果評価

### 5. 各種委員会・職員会議結果評価

### 6. 各種研修会結果評価

### 7. その他、運営結果報告

上記3.～7.については、特別養護老人ホームしあわせの家の報告書をご参照ください。

# ショートステイ しあわせの家寒川

## 令和4年度 事業報告書

※「ショートステイしあわせの家寒川」は、地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川の併設事業となる為、重複する事業報告については地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川事業報告書をご参照お願い致します。

### 1. 令和4年度の重点取組評価

- (1) 組織体制の確立とガバナンスの強化
- (2) 災害対応力の向上
- (3) サービスの質の向上（顧客ニーズを踏まえた個別対応力の向上）

※地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川の実績報告書参照

### 2. 目標稼働率評価

計画 全ての空床を含めた実総数に対して 80%

上記目標に対して、令和4年度の実績は以下の通りです。

71.4%

目標を8.6%（ベッド数388相当）下回る結果となりました。これについては、コロナによる利用控えやコロナ発生に伴う受入中止、更に長期的利用者の入居切替や入院といったことが重なったこと等が要因であると分析しています。また、本年度は特養の入院者の増加による空床発生が前年度よりも増加したことも要因の一つであると分析しています。昨今のコロナウイルス感染症の状況を見ると今後も厳しい見通しとなりますが、ご案内できる対象者をより多く確保できるように、新規利用契約者増に向けて更なる努力を重ねたいと考えています。

### 3. 施設行事实施結果評価

### 4. 職員配置結果評価

### 5. 各種委員会・職員会議結果評価

### 6. 各種研修会結果評価

### 7. その他、運営結果報告

\*上記3.～7.については、地域密着型特別養護老人ホームしあわせの家寒川の実績報告書参照

# デイサービスセンター しあわせの家

## 令和4年度事業報告書

### 1. 令和4年度の重点取組評価

#### (1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上

豊岡事業所全体の目標として接遇マナーに対する目標を掲げ、事業所内で話し合い意識づけをする事で接遇マナーに対する意識は高く持つ事ができ十分とは言えないまでも徐々に効果も見られています。

#### (2) 人材育成の推進

昨年度に続きコロナ禍で一部の研修を中止したりしたことなど、十分な取り組みが出来たとは言えないと評価しています。来年度については、現場でもマニュアルを整備し、より計画的に取り組むたいと考えます。

#### (3) 安定した経営の維持

本年6月終わりから7月の初めにかけて利用者から新型コロナウイルス陽性者が出たことによる4日間の営業中止、7月終わりから8月の初旬にかけて同一建物内にある特別養護老人ホームで新型コロナウイルスクラスターが起きたことによる8日間の営業中止、及び台風による営業中止が1日、11月にデイご利用者から新型コロナウイルス陽性者が出たことによる2日間の営業中止、12月にデイ職員から新型コロナウイルス陽性者が複数出た事による営業中止が7日と計22日間中止する事となりました。その他でもデイサービスのご利用者コロナ罹患者が判明したことにより、コロナ予防のため利用を中止する方が多く、稼働率が低下する原因となりました。ただ、新型コロナウイルスで営業を中止している他の通所介護事業所のご利用者を受け入れた事や利用回数を増やしたご利用者もおられました。定員の申請については、令和4年10月より40名(変更前は35名)に変更しより多くの利用者を受け入れることができました。

#### (4) サービス内容の充実

デイサービスで新型コロナウイルス感染者が出た時期から、3密にならなくてもできる余暇活動を取り入れ、利用者の方々にも楽しんでいただく事ができています。季節ごとの外出行事も行う事ができており、利用者の方々からも好評です。顧客満足度調査も行い、利用者のニーズを再確認することもでき、より選んでいただけるデイサービスを目指していきます。

#### (5) 労働環境の整備

デイサービス職員も特別養護老人ホームしあわせの家で外部講師を招いて実施されたノーリフト研修に参加しました。腰痛予防及び腰痛による離職が無いよう今後も取り組みを継続していきます。

## 2. 目標稼働率評価

目標：85% 29.8名/日 \*定員35名として計算

上記目標を掲げていましたが、実績は以下の通りとなりました。

実績：85% 29.8名/日

4月から9月にかけてはコロナ関係で利用中止される人数は多かったのですが、新規の紹介が多かったこと、又、コロナ蔓延で営業を中止している他の通所介護事業所のご利用者を受け入れる事ができたことにより、稼働率を下げることなく営業することができました。10月から3月にかけては事業所内のコロナ陽性者発生の影響でサービスの利用を中止するご利用者様がおられましたが、目標を達成することができました。

## 3. 行事実施結果評価

新型コロナの感染状況により、外出に関連する行事は見合わすこともありましたが、概ね事業計画の通り実施できました。

## 4. 職員配置結果評価

\*年度末での職員の配置状況は以下の通りとなります。介護職の配置が事業計画より約1.5名多く雇用できましたが、機能訓練指導員は1名減でした。それ以外は計画通りに配置することができました。

	計画	年度末現在
管理者	1名	1名
介護職員	7名	8.5名
看護職員	1名	1名
生活相談員	1.5名	1.5名
機能訓練指導員	2名	1名
その他	0.5名	0.5名

令和4年度の入退職状況は、新規雇用者2名（介護職員（常勤1名）看護職員（常勤1名））退職者3名（介護職（常勤1名）看護師（常勤1名）機能訓練指導員（常勤1名））でした。

※令和5年度より職員配置については運営規定と同様に一部職種を○名以上と表記することとしています。

概ね事業計画の通り実施できました。

## 5. 各種委員会・職員会議結果評価

概ね事業計画の通り開催する事ができました。

## 6. 各種研修会結果評価

新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、外部講師を招いての研修は中止しました。又、一部研修内容を文書開催とする等、予定変更して対応することとし、開催が義務付けられている必須研修については集合研修で実施することができました。

## 7. その他、運営結果報告

- 4月 \* 令和4年度事業計画説明会開催(理事長出席)
- 6月 \* 上半期顧客満足度調査実施  
\* デイで新型コロナウイルス感染者が出たため 6/29~6/30 営業中止
- 7月 \* デイで新型コロナウイルス感染者が出たため 7/1~7/4 営業中止  
\* 併設施設で新型コロナウイルス感染者が出たため 7/27~8/5 営業中止  
\* 三島南中学校から職場体験を受け入れ
- 9月 \* 大型台風のため 9/19 営業中止
- 10月 \* 永年勤続表彰式開催  
\* 職員満足度調査実施  
\* 職場環境改善アンケート実施  
\* ストレスチェック実施  
\* 介護職員等ベースアップ等支援加算 算定開始  
\* 定員 35名から 40名に変更
- 11月 \* デイで新型コロナウイルス感染者が出たため 11/17~11/18 営業中止
- 12月 \* 下半期顧客満足度調査実施  
\* デイで新型コロナウイルス感染者が出たため 12/19・12/23・  
12/26~12/30 営業中止
- 1月 \* 人事考課実施
- 2月 \* 令和5年度事業計画(案)策定

# 居宅介護支援事業所 しあわせの家

## 令和4年度 事業報告書

### 1. 令和4年度の重点取組評価

#### (1) ご利用者の尊厳を守る対人援助技術・接遇マナーの向上

豊岡事業場で年間目標を接遇に関する事とし、利用者や家族との関係性を良好に保つために接遇に対する意識を高くもち対応できています。ただ自宅を訪問できる回数が少なく、直接家族と接する事は少なかったと思います。

#### (2) 法令遵守の徹底

疑問点がある場合四国中央市役所や介護報酬の解釈等で確認し法に触れることなく適切な運営をする事ができました。

#### (3) 人材育成教育

ZOOMを使用し多くの研修に参加する事ができ新しい知識等を得る事ができました。主任介護支援専門員研修を1名受講し主任介護支援専門員資格を取得する事ができました。管理者ができる職員を育成する事ができた事に加え、介護支援専門員更新研修を2名受講し知識や理解を再確認する事ができました。

### 2. 目標利用者数評価

平均利用者数 1か月につき平均 90名(要支援者は0.5人と計算)

上記目標としておりましたが、実績は以下の通りになります。

85.7名

(年間新規契約者数 28名(内訳 要支援者 7名、要介護者 21名))

他事業所が居宅介護支援事業所を閉鎖するにあたり、利用者の担当を引き継ぐことが出来た事や地域からの相談や包括からの紹介もあり、新規利用者の増加に繋がりました。しかし、冬期の入院者数と死亡者数が多かったことや新型コロナの影響で利用控えがあったこともあり、目標には到達できませんでした。今後目標に少しでも近づくことができるように努力したいと考えます。

### 3. 職員配置結果評価

概ね事業計画の通り実施できました。

### 4. 各種委員会・職員会議結果評価

概ね事業計画の通り実施できました。

### 5. 各種研修会結果評価

オンライン研修(ZOOM)に積極的に参加し、更新研修にも参加する事ができました。

### 6. その他、運営結果報告

- 6月 \*新型コロナワクチン4回目接種実施
- 7月 \*被服(ユニホーム)支給(2年毎)
- 10月 \*ストレスチェック実施
- \*職場環境改善アンケート実施
- 12月 \*インフルエンザ予防接種実施
- 1月 \*人事考課実施